

## 【保育事業の量の見込みの算出についての考え方】

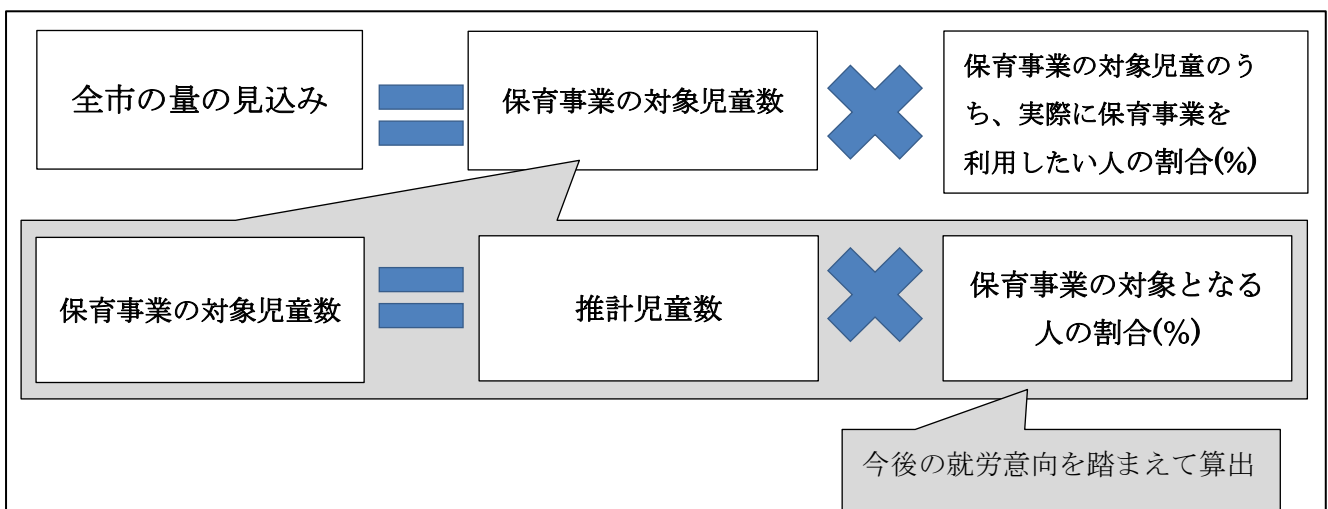
## 1 前提条件

- (1) 各地域の量の見込みの算出に際しては、全市の量の見込みを各地域の「保育を必要とする人(H26.4.1 現在の入所者+不承諾児童)の割合」で按分する。  
 ※現在の入所者＝認可保育所の入所者+認可外保育施設利用者（認可保育所への入所要件に該当）  
 ※不承諾児童＝認可保育所への入所が不承諾になった人
- (2) 全市の量の見込みについては、こどもみらい課実施のニーズ調査を基に国の手引きにより算出  
 なお、0歳児については、一部を除く育休取得者を利用ニーズから除く補正を掛ける。

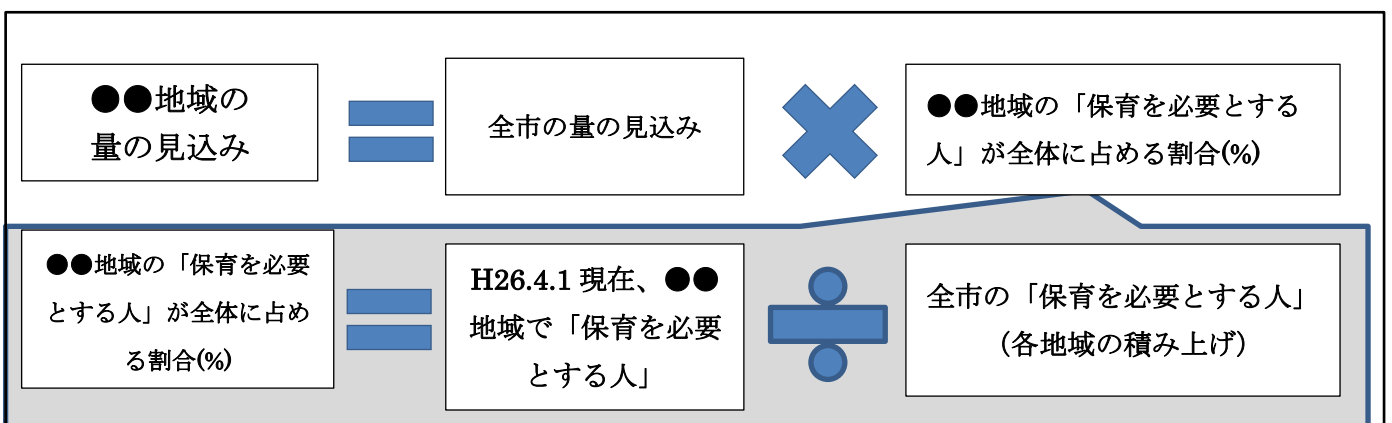
## 2 各地域の量の見込みの算出方法

- (1) 基本的な考え方（1・2歳児、3歳以上児の場合）

## ア 全市の量の見込みを算出



## イ 各地域の量の見込みを算出



※「保育を必要とする人」＝H26.4.1 現在の入所者＋不承諾児童

(例) H27 鎌倉地域の量の見込みの場合（1・2歳児）

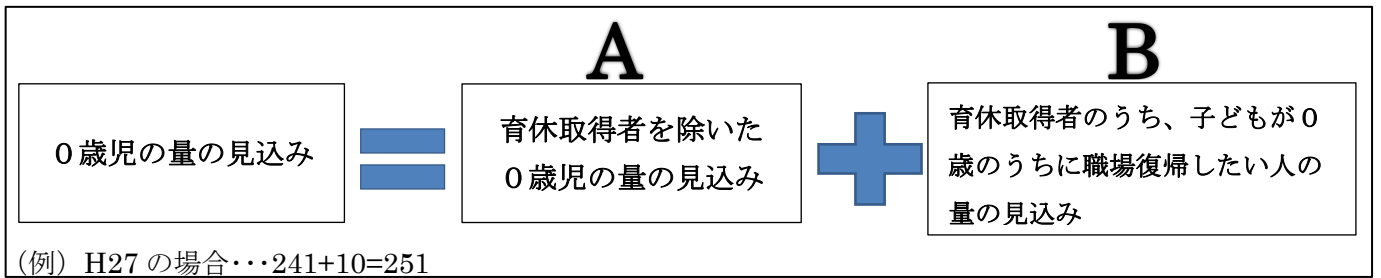
- ①全市の量の見込み＝1,009
- ②鎌倉地域「保育を必要とする人」の割合＝25.3%(217/857)
- ③鎌倉地域の量の見込み＝1,009×25.3%＝255

※標記上パーセンテージについては、小数点第2位を四捨五入した数値を記載し、

量の見込みの人数は小数点第1を四捨五入した数値を記載している。

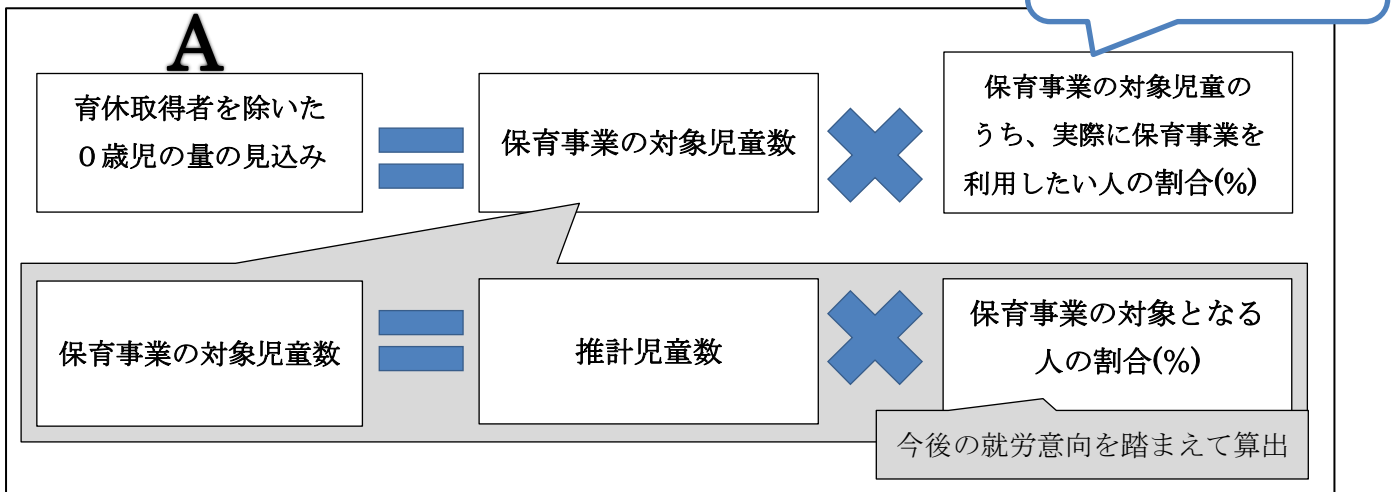
(2) 0歳児の量の見込みの出し方

ア 量の見込みの出し方

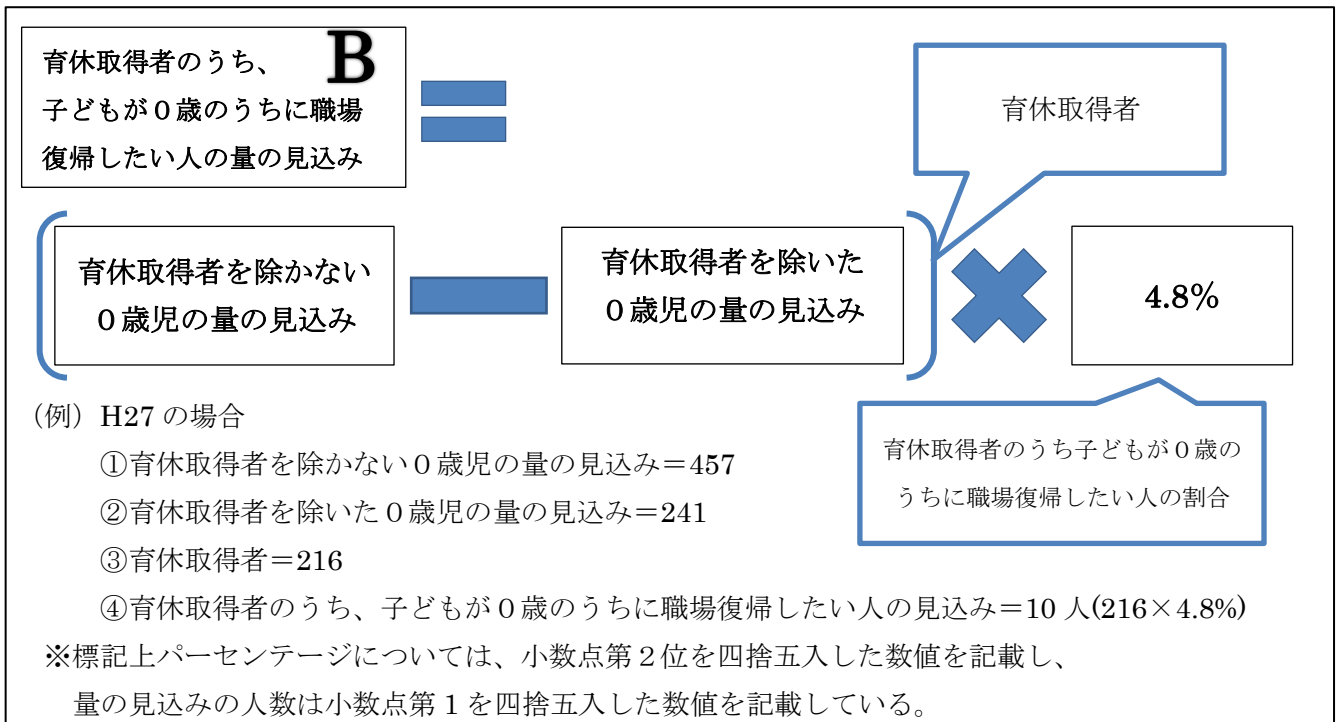


イ 具体的な算出方法

(ア) 全市の育休取得者を除いた0歳児の量の見込みを算出



(イ) 育休取得者のうち、子どもが0歳のうちに職場復帰したい人の量の見込みを算出



ウ 各地域の量の見込みを算出 (省略)